

溝小だより

<https://mizonobe-kahoku.edumap.jp/>

河北町立溝延小学校

学校通信 No.355

2023.3.31

学校教育目標：ふるさとだいすき かしく つよく やさしく

「自ら楽しむ心をもつ」

3月18日（土）、保護者の皆様のご参列をいただいた中で、令和4年度卒業証書授与式を挙りました。凛とした姿で式に臨む卒業生14名は本当に立派でした。卒業をお祝いし、はなむけの言葉を贈りました。

今から二千五百年以上も前、中国の孔子という人が次のような言葉を残しました。
「これを知る者は これを好む者に如かず これを好む者は これを楽しむ者に如かず」
難しい言葉遣いですが、
「理解することより 好きになること 好きになることより 楽しんでやるのが一番だ」
という意味だそうです。
物事を学んでいく時、ただ単に理解しようとするのではなく、そのことを好きになること。好きになれば、そのことに熱中できます。熱中すれば集中力が高まり、自分の力を最大限に発揮することができます。さらに、楽しむことができれば、より深く、学びたくなります。そうすると、目標がよりはっきりしてきて、次々とアイデアがわき、益々学ぶことが楽しくなります。孔子は、このようなことを私たちに伝えようとしているのではないかと思います。
また、今まさに大活躍のWBC日本代表 大谷翔平選手は、あれだけすごい選手になってもまだ、「もっともっと上手になりたい」と語っています。その、圧倒的な向上心は、「野球を楽しむ心」が、誰よりも大きいからだと言われています。エンゼルスのマッド前監督は、大谷選手のその姿から『楽しむこと』が、どれほど成功の原動力になっていることか。『楽しむこと』を軽く見てはいけない。」と感じたそうです。そして、彼の「心から野球を楽しむ姿」は、わたしたち多くの人に、元気と勇気、時には感動さえ与えてくれます。
中学校の三年間、新しく学ぶことが次から次へとやってきます。しかし、目の前のこと全てが、自分の好きなこと、楽しいこととは限りません。また、「好きだ」「楽しい」という気持ちは、誰かが与えてくれるものではありません。自分自身の心が、決めることです。目の前のことを、楽しんでできるかどうかは、自分の心の持ち方次第なのです。
孔子が生きていた時代から大谷選手が活躍する現代までの二千五百年もの間、人間がずっと大切にしてきた「自ら楽しむ心」は、きっとこれからも変わらず大切にされるものと思います。ぜひ、周りの人が元気になるくらい「自ら楽しむ心」で、挑戦し続けてください。毎日の学習や休み時間、笑顔と笑い声の絶えなかったみなさんですから、きっとできると思います。自分の可能性を信じて、これからもみなさんが大きく成長することを心から願っています。
(式辞より抜粋)

保護者の皆様、地域の皆様には、今年度も多大なるご支援とご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。来年度も子どもたちの成長を願い、全職員一丸となって教育活動に取り組んでまいります。どうぞ、よろしく願いいたします。

本校ホームページへ
こちらからもどうぞ



入学式に係るお知らせとお願い

令和5年度入学式を4月8日（土）に挙行いたします。つきましては、卒業式同様、河北町立小・中学校統一してご来賓のご臨席を賜らずに実施する方向で考えております。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

(校長 小林 聡)